

第 3 期伊勢市環境基本計画

策定の進め方・方向性

1 策定の主旨

(1) 伊勢市環境基本計画について

「伊勢市環境基本計画」は、伊勢市環境基本条例第 8 条の規定に基づき策定する地域版の環境基本計画である。

〈伊勢市環境基本計画が定める事項〉(伊勢市環境基本条例第 8 条より)

- | |
|--|
| (1) 環境の保全に関する目標、基本的方向及び配慮の指針 |
| (2) (1)に定めるもののほか、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項 |

(2) 次期計画の策定にあたって

「第 2 期伊勢市環境基本計画」(2015 (平成 27) 年 3 月策定) (以下、「現行計画」という。) は 2019 (令和元) 年度までの期間を対象とした計画であるため、2020 (令和 2) 年度以降の新たな計画を策定することとなっている。第 3 期伊勢市環境基本計画 (以下、「次期計画」という。) は、現行計画の取組の成果や課題、環境に係る状況の変化や市民の意向等を踏まえるとともに、市の上位計画・関連計画との整合を図り、国内外の環境をとりまく情勢の変化などに対応した計画とする必要がある。

〈現行計画策定以降の主な背景の変化〉※詳細は「参考資料」(P4~7) を参照

年	主な背景の変化	概要	主体
2015 年 (平成 27 年)	「持続可能な開発目標 (SDGs)」の採択	国連が採択した国際社会全体の 2030 年に向けた環境・経済・社会についての目標	国外
2016 年 (平成 28 年)	「パリ協定」の発効	温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組み	国外
2018 年 (平成 30 年)	「第五次環境基本計画」の閣議決定	国際的潮流を踏まえた、政府の環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱	国内
2018 年 (平成 30 年)	「第五次エネルギー基本計画」の閣議決定	エネルギーを巡る国内外の情勢変化を踏まえ、2030 年、更に 2050 年を見据えた新たなエネルギー政策の方向性を示したもの	国内
2018 年 (平成 30 年)	「第 3 次伊勢市総合計画」の策定	目指すべき将来像やまちづくりの行動指針などを示した伊勢市の最上位計画	伊勢市
2020 年 (令和 2 年)	「次期三重県環境基本計画」の策定予定	三重県の環境の保全に関する取組の基本的な方向を示した新たなマスタープラン	三重県

このような背景を踏まえ、計画の策定に必要な調査・検討を実施したうえで、計画の目標や取組みを全部改定し、新たな計画を策定する。

2 策定の方向性

(1) 基本的な考え方

- **市の特性を考慮した伊勢らしい計画とする。**

豊かな自然環境などの伊勢市の特性に着目し、地域独自の環境を守り活かしていくための計画とする。

- **伊勢市地球温暖化防止実行計画を包含した計画とする。**

伊勢市地球温暖化防止実行計画を本計画の中に盛り込み、一体的な計画推進を図る。

(2) 策定にあたってのポイント

次期計画の策定にあたって、以下のポイントを重視する。

■ 計画の内容に関するポイント

① 特に解決を図るべき重要な環境課題への対応

- ・伊勢市が特に解決を図るべき重要な環境課題を明確化した上で、効果的・優先的な対策を位置づける。

② SDGs の達成をも見据えた地域貢献型（コベネフィット※型）の計画づくり

- ・これまで環境基本計画ではあまり取り扱われてこなかった、まちづくり・交通、産業・観光、健康・福祉等の幅広い関連計画との整合・連携を図ることで、環境の視点から貢献可能な地域課題を抽出するとともに、必要な施策の体系化及び具体化を図る。

■ 計画の構成や運用面に関するポイント

① 市民にとってわかりやすい計画づくり

- ・市民と計画を共有するため、市が重点的に取り組む目標や施策を明確化する。
- ・市民による理解を促すため、計画内容をイラストで表現するなど読みやすさやわかりやすさへの配慮を行う。

② 実効性のある進捗管理手法の構築

- ・これまでの指標の運用実績を検証し、より適切な指標群へと改善する。
- ・計画の進捗管理手法を明確にし、計画の評価、取組の改善が効果的に機能する仕組みを設ける。

※コベネフィット：一つの活動がさまざまな利益につながっていくことを指す。

3 策定スケジュール（予定）

令和 元年度	環境審議会	庁内会議	策定作業（ <input type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 計画策定）
7月	第1回環境審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問 ・ 策定の進め方・方向性【審議】 ・ 市民等のアンケート調査の実施について【審議】 ・ 温室効果ガスの算定手法について【審議】 		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 環境に関する基礎調査 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 150px;"> 市民等アンケート調査票作成・準備 </div>
8月			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 現行計画の振り返り </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 150px;"> 施策の庁内調整 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 150px;"> 市民等アンケート調査 </div>
9月	第2回環境審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行計画の評価【審議】 ・ 市民等のアンケート調査結果【報告】 ・ 環境の現状と課題【報告】 ・ 計画の骨子案【審議】 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 骨子案作成 </div>
10月	第3回環境審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画素案（中間）【審議】 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 素案作成 </div>
	第4回環境審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画素案（最終）【審議】 ・ パブリックコメントの実施について【報告】 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 経営戦略会議 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 素案修正 （パブコメ案） </div>
11月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 議会報告 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> パブコメ準備 </div>
12月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> パブリックコメント </div>		
1月	第5回環境審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメント実施結果【報告】 ・ 計画最終案【審議】 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 最終案作成 </div>
2月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 答申 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 最終案校正 </div>
3月	<div style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第3期伊勢市環境基本計画 策定 </div>		

(参考資料)

1) SDGs (持続可能な開発目標)

2016 (平成 28) 年から 2030 年までの国際目標として、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs) が、2015 (平成 27) 年の国連総会で採択された。SDGs は 2016 (平成 28) 年から 2030 年までの国際目標で、17 の目標とそれらに付随する 169 のターゲットから構成されており、環境・社会・経済の 3 つの側面を統合的に解決する考え方が強調されている。先進国を含めた国際社会全体が、将来にわたって持続可能な発展ができるよう、それぞれの課題に取り組んでいくことが必要とされている。



出典) 国連広報センターホームページ

図 1 持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 の目標

2) パリ協定

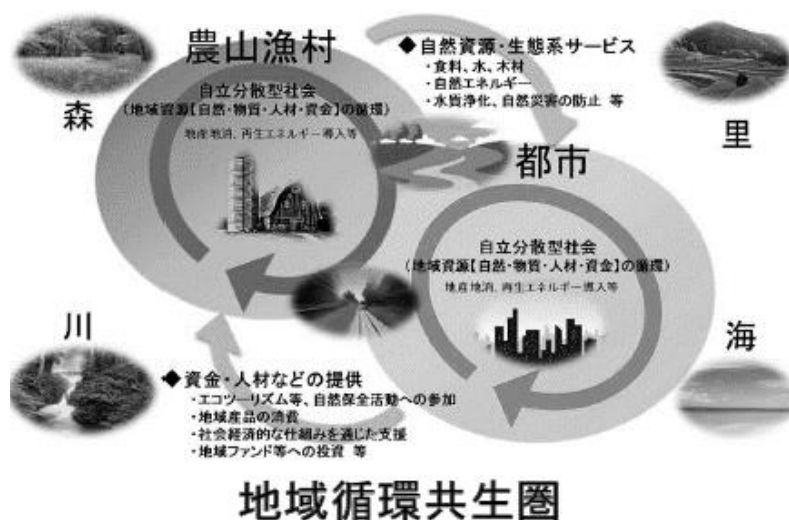
京都議定書以来 18 年ぶりの新たな法的拘束力のある国際的な合意文書となる「パリ協定」が 2015 (平成 27) 年に採択され、2016 (平成 28) 年 11 月に発効された。

パリ協定では、気候変動によるリスクを抑制するために、2050 年までの世界の気温の変化を 2°C 以内にとどめ、1.5°C 以内に抑える努力を追求することを掲げており、日本を含むすべての条約加盟国が温室効果ガス排出削減のための取組を強化することが必要とされている。

3) 第五次環境基本計画

国の「第五次環境基本計画」が、2018（平成 30）年 4 月に閣議決定され、目指すべき社会の姿として、①「地域循環共生圏」の創造、②「世界の範となる日本」の確立、③これらを通じた、持続可能な循環共生型の社会（「環境・生命文明社会」）の実現、が掲げられた。また、SDGs の考え方を活用し、環境・経済・社会の統合的向上を具体化していくというアプローチとともに、分野横断的な 6 つの重点戦略（経済、国土、地域、暮らし、技術、国際）が示されている。

「地域循環共生圏」とは
自立・分散型の社会を形成しつつ、近隣地域等と地域資源を補完し支えあう考え方。
（「第五次環境基本計画」（環境省）より引用）



出典）「第五次環境基本計画の概要」（環境省）

図 「地域循環共生圏」の考え方

4) 第五次エネルギー基本計画

エネルギーを巡る国内外の情勢変化を踏まえ、2030 年、更に 2050 年を見据えた新たなエネルギー政策の方向性を示した「第五次エネルギー基本計画」が 2018（平成 30）年 7 月閣議決定され、エネルギーの「3E+S」（「安全性」、「安定供給」、「経済効率性の向上」、「環境への適合」）の原則をさらに発展させ、より高度な「3E+S」を目指すため、「①技術・ガバナンス改革による安全の革新」、「②資源自給率に加え、技術自給率とエネルギー選択の多様性の確保」、「③「脱炭素化」への挑戦」、「④自国の産業競争力の強化」の 4 つの目標が掲げられた。

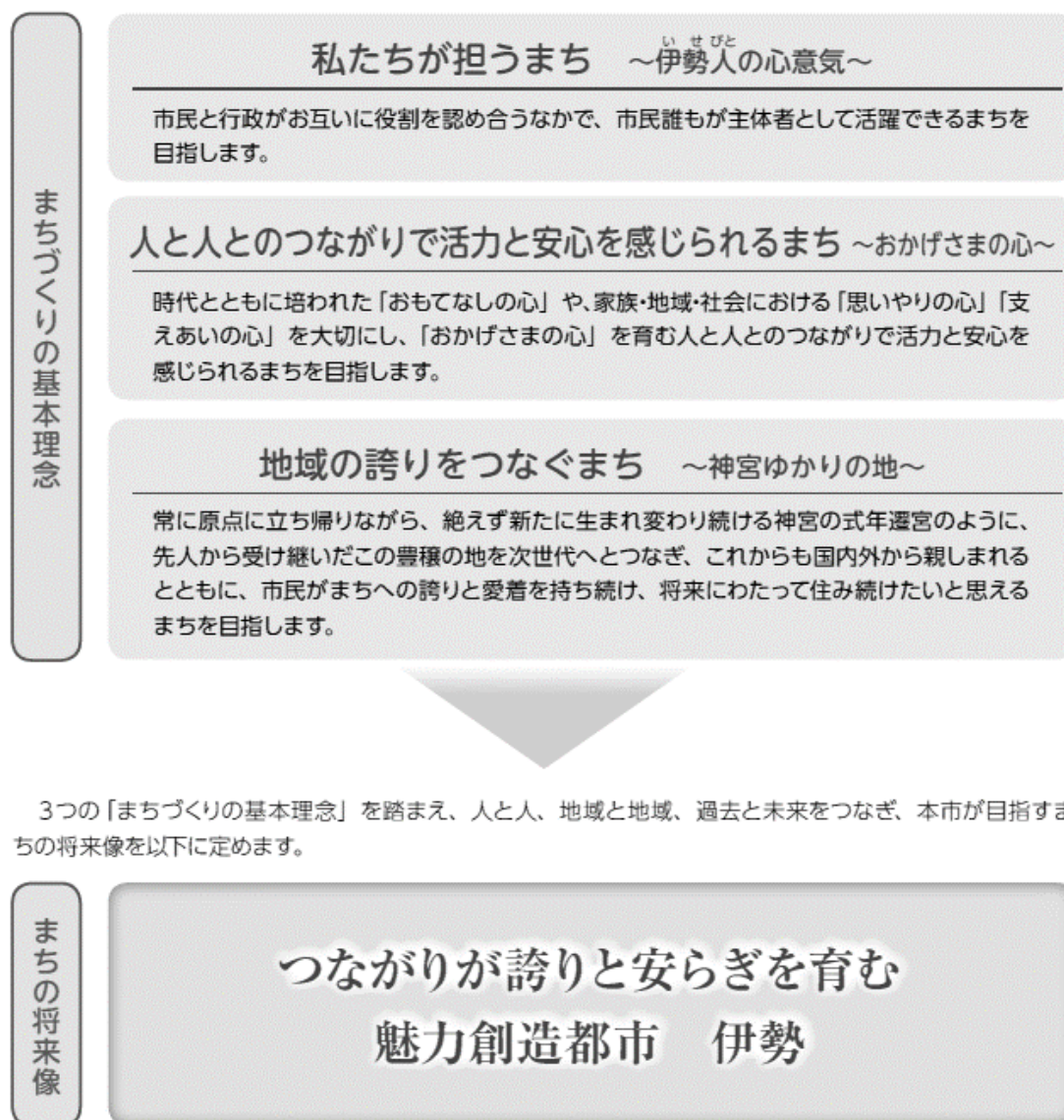
第五次エネルギー基本計画では、再生可能エネルギーについて、今後も導入を加速して、将来的に主力電源化を目指す考えが示された。原子力発電については、引き続き、重要なベースロード電源として活用していくとされている。

5) 第3次伊勢市総合計画

市では、2018（平成30）年7月に、目指すべき将来像やまちづくりの行動指針などを市民と共有する伊勢市の最上位の計画として「第3次伊勢市総合計画」を策定した。

第3次伊勢市総合計画では、基本構想として「私たちが担うまち」「人と人とのつながりで活力と安心を感じられるまち」「地域の誇りをつなぐまち」を3つのまちづくりの基本理念に据え、「つながりが誇りと安らぎを育む 魅力創造都市 伊勢」を目指す将来像に掲げている。

環境分野における目指す姿として、「豊かな環境を将来につなぐまち」を掲げ、資源の有効活用及び循環型のまちづくりの推進、豊かな自然を守り快適な生活環境と調和のとれたまちづくりの推進、環境を守り育てる文化の醸成を図っている。



出典)「第3次伊勢市総合計画(概要版)」(伊勢市)

図 伊勢市のまちづくりの基本理念と将来像

6) 次期三重県環境基本計画（案）について

現在、三重県では、新たな環境基本計画の検討が行われている。

【次期三重県環境基本計画（案）について】

（１）新たな計画策定の方向性

○環境、経済、社会の統合的向上（SDGs の観点を取り入れた環境施策を推進）

経済・社会的課題が深刻化する中では、環境政策の展開に当たり、環境保全上の効果を最大限に発揮できるようにすることに加え、諸課題の相互関係性を踏まえて、「環境、経済、社会の統合的向上」に資する効果をもたらせるよう、関連部局と連携をとりながら政策を構築する。

○安全・安心で快適な生活環境が保全され、環境との調和が確保された低炭素循環型社会の構築

次期三重県環境基本計画における施策体系としては、

①安全・安心で快適な生活環境保全の確保（新たな環境課題への対応を含む）をベースとして、グローバルな観点からも社会的要請となっている、②低炭素社会、③循環型社会、④自然共生社会の構築を重点 3 項目とする。

また、各施策の推進に共通する、あるいは横断的に取り組むべき事項（環境教育、環境経営、国際協力等）を⑤共通基盤的施策とし、総じて 5 項目を施策の主軸とする。

（２）今後のスケジュール

- 2019 年 1 月 環境審議会（諮問）
- 2019 年 5 月 環境審議会①（策定方針、部会委員指名）
- 2019 年 9 月 環境審議会②（中間案）
- 2019 年 10 月 パブリックコメント
- 2019 年 11 月 環境審議会③（最終案）
- 2019 年 12 月 環境審議会（答申）

出典）県提供資料（令和元年度第 1 回三重県環境審議会資料（2019（令和元）年 5 月 21 日））